新国立劇場合唱団員解雇事件

公演前にビラまき＆要請行動

聴衆へひろくアピール

三月十八日、今までになかった取組みとして、新国立劇場「ラインの黄金」公演前の宣伝行動と、新国運営財団（以下、財団）に対する要請を行なった。

当日は音楽ユニオンやＭＩＣ、東京争議団、公務公共一般などの仲間が数多く駆けつけ、五百枚のビラは三十分ほどでまき終えることができた。

劇場に集まる聴衆の皆様に、新国立劇場合唱団員解雇事件について知っていただき、その正常な解決と、「国立」と冠するオペラハウスの、世界屈指を誇る舞台機構とはあまりにアンバランスなソフトの実態を訴える我々の目的はある程度、達せられたと言えよう。

その後、楽屋口による対応ではなく、公演中の演奏が聞こえる部屋に招き入れられた要請団は、財団の田栗課長に対し、団体交渉に応じるよう申入れ書を手渡すとともに、今後の財団側の誠実な対応を改めて強く訴えた。

公演前のビラまきと要請は、今後も行う予定である。

（全国本部　安西康高）